

# タイで安全・快適な交通文化の実現をめざす

矢崎グループは、1962年にグループ初の海外拠点として「タイ矢崎電線株式会社」を設立して以来、地域のステークホルダーの皆様にご支援とご協力をいただきながら発展を続けてまいりました。そして現在、タイ国内に6法人、12,000名を擁するまでに至りました。

タイの首都・バンコクには高層ビルが建ちならび、人々の活気が街中に溢れています。その一方で、慢性的な交通渋滞や交通事故の増加が社会問題化し、安全な交通文化を実現させるためのさまざまな諸策が講じられています。

本特集では、2015年度に始まったデジタルタコグラフを活用した安全で快適な交通文化の実現をめざした取り組みについてご紹介します。



## 安全で快適な交通文化の実現に向けた取り組み

タイでは、2016年1月にトラックやバスなどの大型車両にGPSを搭載することが法制化されました。タイ政府は2020年までに交通事故死者数を人口10万人あたり年間10人とする目標を掲げており(現在36.2人)、GPSを通じた情報管理による死亡事故削減をめざしています。

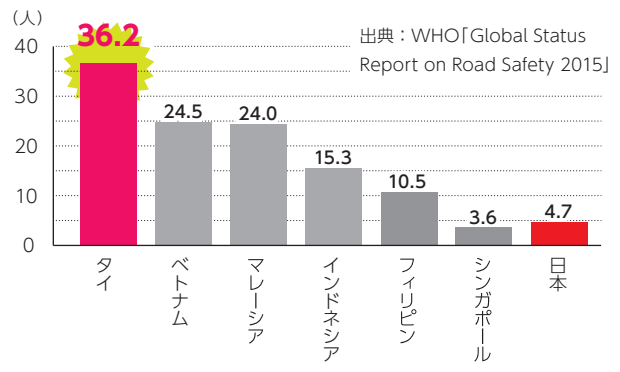
また、企業においても安全な交通文化の構築をめざす取り組みが活発化しており、運輸業界を中心に、ドライバーへの安全運転教育やエコドライブ習得などによる改善が進められています。

矢崎グループは、1960年に日本初となるタコグラフの販売を開始して以来、日本国内の運輸業界における安全運転や交通事故防止の貢献に努めてまいりました。そこで、これまで培ってきた技術や経験を活かし、タイの安全な社会・暮らしの構築に少しでも貢献できないかと考え、2015年4月1日、デジタルタコグラフによる通信ネットワークビジネスを行う『タイ矢崎ネットワークサービス(TYNS)』を設立し、新たなチャレンジを開始しました。また、トヨタ・モビリティ基金による、バンコク市内の渋滞解消をめざす産学官連携のプロジェクトにも参画し、デジタルタコグラフで収集したプローブ情報\*1の提供を通じ、協力しています。

\*1 プローブ情報  
走行中の車両から収集した位置情報や車速などの情報を用いてつくられた道路交通情報。



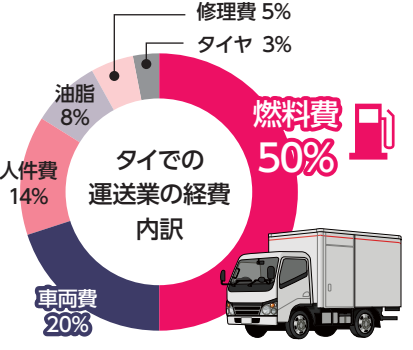
## ASEAN主要6カ国と日本における人口10万人あたりの交通事故死者数の比較



## 運送業における直接経費の現状

タイでは、運送業の経費のうち燃料費が約50%と大きな割合を占める。燃費削減は経費とCO<sub>2</sub>の削減に直結する。

出典：タイ・エネルギー省



## column



タイ 運輸省 副大臣  
Mr. Ormsin Chivapruck

### 交通問題の解消に向けて、海外の技術やノウハウにも期待

タイでは、輸送インフラの整備や車両基準の見直しなどを通じて、安全で、かつ、質の高い効率的な運輸システムの実現をめざしています。交通事故削減を目的とした施策のひとつとしては、2016年1月からトラックなどの貨物自動車と公共バスについて、全車両にGPSを搭載し、陸上交通局にて車両走行記録データの保存を法制化しました。これにより、車両1台1台の速度や運転時間、運行路などが規定通り守られているかを、陸上交通局で管理することを可能としました。先の旧正月中(ソンクラーン)における公共バスの事故件数およびそれによる死者数は昨年より明らかに減少しており、GPSの搭載が一助となったと考えることができると思います。

今後は、安全で効率的な輸送と交通問題の恒久的な解消のために、タイ国内のみならず、諸外国からも優れた効果をもたらす技術やノウハウを積極的に導入していきたいと考えています。



# 安全でエコな社会の実現に向けて、

# ステークホルダーの願いをつなぐ

## 位置情報を活用し、安全と輸送品質の向上につなぐ

GPSの搭載が法制化されたことを受けて、デジタルタコグラフにもその機能を付加し、GPSから得られた情報を管理するネットワークの整備が必要です。そこで矢崎グループは、タイ国内においてGPSの開発や地図インフラの構築などの技術と実績を多くもつD.T.C. ENTERPRISE CO., LTD. とともに事業を進めています。

「矢崎が培ってきたデジタルタコグラフと、私たちの情報ネットワークの強みをつなぎ、タイの交通文化の改善につなげたいと強く願っています。この国の交通事故を減らしたいという想いは誰にも負けません。また、タイだけでなく、ASEAN諸国への普及を通じて、安全な交通文化の定着と輸送品質の向上につなげたいとも考えます。」



D.T.C. ENTERPRISE CO., LTD.  
CEO Mr. Thotspot Kunapermsiri

## 安全運転の大切さをドライバーへ伝え、交通文化の底上げに挑む



運転研修センター「T-PRO」

豊田通商タイランド(株)の子会社としてミルクラン(巡回集荷式)輸送業務を行っているTTK ASIA TRANSPORT (THAILAND) CO., LTD. では、同社が所有するすべてのトラックにデジタルタコグラフを搭載し、エコドライブによる燃費効率の改善やドライバーに対する安全運転教育を行っています。



TTK ASIA TRANSPORT (THAILAND) CO., LTD.  
社長 河田 弘重 様

「タイで交通事故を減らすためには、安全運転教育を繰り返し行い、社会全体の意識を底上げすることが必要です。当社では2012年に運転研修センター「T-PRO」を立ちあげ、ドライバーへ安全運転教育を行っています。T-PROでは、当社の従業員だけでなく、他社の従業員も受け入れ、毎年2,000名が卒業しています。最初は安全運転に無関心なドライバーたちも、デジタルタコグラフの運行記録をもとに、自分の運転の悪さを自ら確認することができます。そして、反省を次に活かすことで、卒業後は走行車線をキープし、制限速度を守ることができるようになります。また、ドライバーのモチベーションを高めるために、表彰制度の導入も行っています。」

安全運転は、燃費向上につながり、結果として環境保全にも寄与します。T-PROでの研修の成果を通じて、タイの交通文化の改善や環境保全に貢献したいと強く思います。」

## デジタルタコグラフの効果売って、タイ社会の発展に貢献したい

HOSOYA INTERNATIONAL CO.,LTD. は、タイにおける矢崎グループのデジタルタコグラフ販売代理店第1号です。デジタルタコグラフの取り付け後、細谷社長自らそのトラックに同乗し、ドライバーの横でつきっきりで運転指導を行っています。

「私が矢崎のデジタルタコグラフを取り扱い始めた当初は、製品の取り付けだけを行っていましたが、お客様から取り付け後の効果が出ないというご指摘を受けたことを機に、同乗指導を開始しました。『2,500回転で行っていたシフトチェンジを1,000回転でやってみてくれ』『アクセルは柔らかく踏み、急ブレーキを避けて』という指導を対面で行うことは、ドライバーにとって大きなストレスです。しかし、デジタルタコグラフの運行記録から、燃費向上や安全運転の効果が徐々に表れると、ドライバーの表情も笑顔に変わり、私も嬉しく思います。」

また、デジタルタコグラフを取り付けていただいたお客様には、好成績を挙げたドライバーに対し表彰や報奨金などのインセンティブを与えるよう、私から提案することもあります。

当社のモットーは、デジタルタコグラフの台数を売ることよりも『効果』を売ること。微力ではありますが、少しでもタイ社会の発展や改善に役立てるよう、日本人としての心意気をみせながらこれからも続けていこうと思います。」



HOSOYA INTERNATIONAL CO., LTD.  
社長 細谷 文男 様

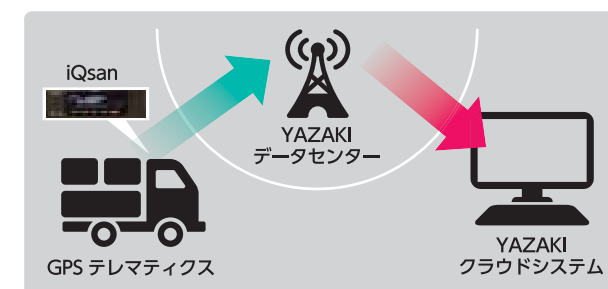
## ステークホルダーの皆様とともに



タイ矢崎ネットワークサービス(TYNS)のスタッフたち

タイでデジタルタコグラフを販売するTYNSは、日本人スタッフ3名、現地スタッフ6名の計9名で構成されています。若くて、社歴も浅いスタッフですが「交通事故を減らしたい」「これでタイの運転習慣を変えることができたらうれしい」「環境保全や省エネルギーに貢献する仕事に携わることができて誇らしい」と安全や環境保全への想いは共通です。

「TYNSは、デジタルタコグラフを通して、タイの交通文化を底上げするお手伝いの機会をいただきました。ご協力いただいているステークホルダーのすべての想いを共有しながら、一日も早く安全な交通環境が実現するよう、全力でがんばります。」



デジタルタコグラフデータの流れ

## DTC社と矢崎グループの協力関係

### タイにおける情報インフラ

#### DTC社

- 情報センター運営
- 地図・アプリケーション開発
- アフターサービス

#### YAZAKI

- 商品企画・開発
- 販売戦略
- 他国展開

ASEAN域における戦略的パートナー  
商品開発・日本での実績

## 矢崎のデジタルタコグラフは、タイの車社会における安全・省エネルギー・効率・環境保全を実現します

- 安全の創出** 危険運転警報(予知)機能による交通事故ゼロ化
- 省エネルギーの創出** エコドライブ機能による燃費向上での省エネルギー化
- 効率の創出** 配車、配送などの輸送品質向上による業務の効率化
- 環境の創出** CO<sub>2</sub>排出削減や渋滞解消などによる環境の保全化

